

Si-R G210 V20.04 変更内容一覧

□機能追加・改善

No.	項目	内容
1	WPAD対応	DHCPサーバ機能、proxyDNS機能によりPACファイル配信サーバを端末に自動登録可能とする。
2	透過モード起動時間短縮	透過モード設定時の装置起動時間短縮
3	FAN回転制御対応	設置環境の温度変化によるFAN制御(停止/低速/中速/高速自動切換)を行う。
4	VPN	VPN処理の改善を行いました。
5	csg agetimeコマンド対応	CSGのDNS順引き動的経路の保持時間の設定コマンドを変更 旧:csg agenttimeコマンド
6	LTE WiFi USB dongle (Si-L10)の最大パケット長拡大	LTE WiFi USB dongle (Si-L10)の通信パケットの最大パケット長を拡張する。1464byte⇒1472byte

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.00～V20.03	show devscanコマンドにて機器識別用ユーザ辞書に定義した文字列の表示が文字化けする場合があります。
2	V20.00～V20.03	運用中にresetコマンドを投入すると装置内にコアファイルが生成されることがある。
3	V20.00～V20.03	ハードウェア異常(内部ポート故障)が検出されない場合があります。
4	V20.00～V20.03	経路切替とSIM切替を繰り返していると通信が行えなくなることがある。
5	V20.00～V20.03	G210でタブ補完ができなくなることがある。
6	V20.00～V20.03	vlan forwardに指定できないwanポートが設定できる。
7	V20.00～V20.03	データコネク機能でアドレス変更時再REGISTしないことがある
8	V20.00～V20.03	vlan透過モードで、group2側でmirror設定を行うとMACアドレスが学習テーブルへ静的に登録されない。このため、ethergroup2のポートから自装置宛での通信が来た場合、ethergroup2の各ポートへfloodingされてしまう。
9	V20.00～V20.03	トラフィックセクタ設定を有効化し、拡張IPsec対象範囲設定を行うと、IKEネゴシエーションが行われない。FENICSビジネスVPNアドバンスサービス利用時にも本事象が発生する。
10	V20.00～V20.03	vrrp構成定義をコピー&ペーストすると、装置が無応答となり再起動することがある。
11	V20.01～V20.03	トラフィック可視化統計情報で表示される値が異常となる場合がある

12	V20.00～V20.03	装置起動後、24時間毎にパケット送受信が遅延、または破棄される場合がある。
13	V20.00～V20.03	装置再起動時にエラーログ(error code [c8002007])がロギングされることがある
14	V20.03	構成定義設定によって、PACファイルへのアクセスが行えない場合がある。
15	V20.01～V20.03	Nxconciergeサービス利用時、メモリ資源が消費され、装置が無応答となり再起動することがある。
16	V20.03	DNS問合せによる経路登録が有効な場合に、メモリ資源が消費され、装置無応答または装置が再起動することがある。